

# 第34回キャンサーボード開催のお知らせ

日時：平成21年7月1日(水)18:00-19:00

場所：附属病院4階 第1会議室

テーマ「腫瘍と血栓症」循環器内科より



## 第33回報告(外来化学療法安全管理)

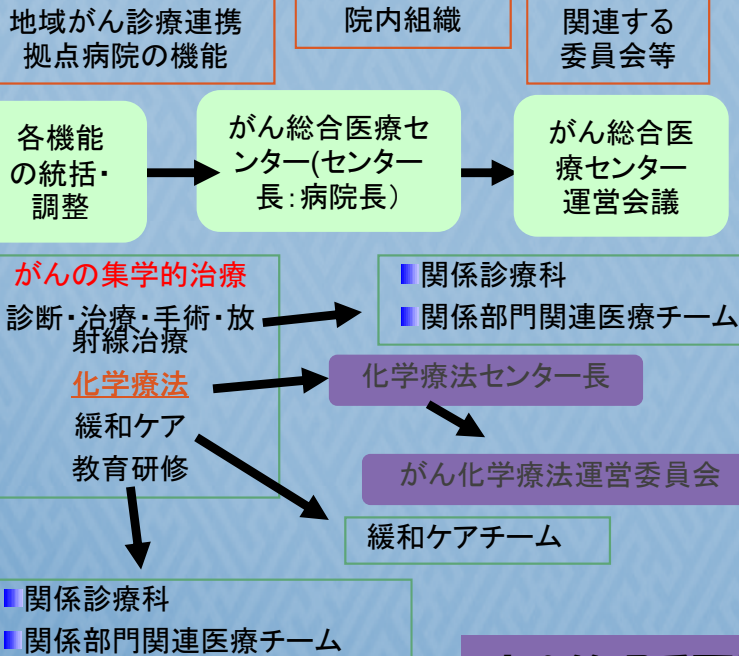
### 外来化学療法のニーズ

- がん患者のQOL維持  
食事の嗜好、良好な睡眠  
家庭生活の維持(術前化療・再発、再燃担癌状態の担がん患者が外来化学療法室利用の約9割を占める)  
就労の継続維持、趣味の時間 etc...
- 医療従事者の安全確保と医療過誤回避
- 病院経営上のメリット  
外来化学療法は、DPCを採用している多くの病院で収益性が高い→分子標的治療薬の普及も拍車。

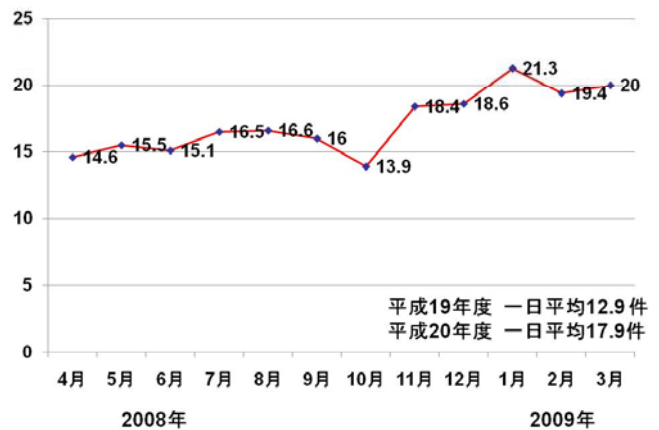
### 化学療法センターとしての組織目標

- 横浜市立大学附属病院における、より安全かつ効率的で患者さんにやさしく快適な化学療法の提供
1. 化学療法関連インシデントの徹底分析と改善への迅速な対応。
  2. カンファレンスの充実によりスタッフの意思疎通を図り、患者の状態を詳細に把握し診療科との連携をスムーズに行う。
  3. オーダリング方法の見直しなど、各診療科がより利用しやすく効率的に運用できるシステムへの改善。
  4. 化学療法運営委員会におけるプロトコール検討・承認の活性化、レジメン登録の推進により、院内のがん治療レベル向上に寄与する。
  5. 医師主導の臨床試験の化学療法センターでの施行の積極的サポート。

### 地域がん診療連携拠点病院機能と院内組織



### 外来化学療法室 1日平均実施数の推移 (2008年4月~2009年3月)



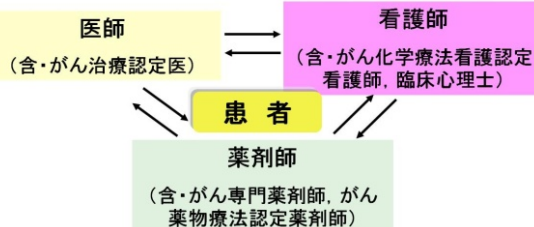
### 安全管理重要課題

1. 少ないベッド、少ないスタッフで増え続ける患者数への対応
2. 化学療法に起因するインシデント・アクシデント検討、レジメンシステムの落とし穴

### 高い専門性を維持

### 2009年度課題

外来化学療法の推進・待ち時間短縮・受け入れ数検討・対外広報・抗がん剤等薬剤の血管外漏出時の対応マニュアル



お知らせ：年間10回以上ご参加いただいた方には、キャンサーボードメンバーバッジ(右)をお渡しいたします。  
第33回は、40名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。

